

第4回島原市庁舎整備懇話会議事録(概要)

委員

以前事務局から示された候補地の一箇所である靈丘公園について国体のために整備が予定されているとの話を聞くが、候補地から外れたと考えてよいのか?

事務局

平成26年に国体が予定されておりますが、島原市において弓道の開催が予定されている。それに向けた整備は必要であるが、具体的な整備方法については決定しているわけではないので、はっきりとは言えない。

委員

提言書をまとめるとなると場所が必要であると思うが、場所についてより深い議論をした方がいいのではないか。

場所について決めないと提言書として意味をなさないと思うが他の委員さんの意見もお聞かせ願いたい。

委員

27年度という期間を考えていくと、大手広場の活用についても議論をしていいのではないか。意見の一つとして

委員

現在地の建替えは、道路の整備上は少し難しいのではないか。現在の庁舎を仮設庁舎として使用し、大手浜に建替えるのが一番の早い方法ではないか。

委員

大手広場には、国有地、県有地があるとのことだが、どの程度市有地以外の土地があるのか。

事務局

公園の緑地に一部国有地が残っている、大手広場については市有地以外の土地の問題より道路で土地が分断される問題が大きい。

委員

場所の問題について、具体的な場所を絞り込めるのか?中心市街地の活性化のため今の商店街の近く等で留める程度しかできないのでは。

委員

この懇話会では、問題提起の委員会と考える、場所は、絞りこむ必要はないのでは。

商店街においてH20年に補助事業を活用して検討報告書を作成している、この報告書案についても検討できないか。(ダイエー、島鉄バスターミナル)

大手浜については、線路を越える必要があるので交通の便を考えるとどうなのか。

委員

庁舎建設については、以前から市において計画されていたようであるが、雲仙普賢岳災害により実現できなかったと思う。災害から20年近くたっており庁舎の老朽化はかなりのものと考えるので建替えについては、理解を得られるのではないか。

問題は、建設場所ということになるが、一旦建替えれば今後50年はその庁舎を使うことになる。市民の納得しない場所に造っても市民の要望にこたえられないのではないか。

市の活性化のために、庁舎の建替えと都市計画の見直しと一緒に考えないといけない時期に来ているのではないか。

委員

金額的にも、時間的にも新たに土地を求めてとなると難しいのではないか。

庁舎を建設をすると決まった後、場所を決める委員会等は設置されるのか、それとも議会で決まるのか。もし、この後そのような意思決定機関がなければこの懇話会である程度は場所を決める必要があるのではないか。

事務局

場所について、どの程度の記載にするかということは事務局からどうこう言うことはできない。

今後のスケジュールについては、提言書をいただき、それをもとに構想を作る必要がある。その後、市民及び議会におはかりしながら市のほうで基本設計に入って行く。懇話会は、庁舎建設の第一歩と考えていただきたい。最終的に場所については、市長が提案し、議会が議決をすることとなる。

委員

市役所から市有地を活用する案が出されているが、そのほかにアーケードの中には庁舎建設の候補となるような空き地が何箇所かあるので、それについても検討してもらえないか。

委員

庁舎の機能について、支所をどうするかという問題があると思うが。

事務局

合併後間もないこともあり、新庁舎ができたからといって有明支所がすぐになくなるということはない。有明庁舎については、当面は活用を考える必要があると思う。

会長

有明庁舎については、市の職員に広域圏の職員や農協の職員もいると思うが資料の数字にも入っているのか、入っていなければより必要な面積は大きくなるのではないか。

委員

庁舎建設の問題は、行政改革の問題とリンクして捉えるべきでは。

商店街の提案書については、この懇話会の中でも披露してほしい。

場所については、市有地だけでなく民活も含めて検討して欲しい。

この資料にある窓口業務については、今後無くなっていく業務ではないか。そう考えると庁舎についてはもっとコンパクトでもいいのでは。

市に今後のビジョンを示してもらい、それに肉付けをする方法が良いのではないか。

委員

行政がどういう方向にを進みたいか大きな行政をめざすのか、小さな行政をめざすのかそういう方針を示してもらわないと提案はできるが懇話会はまとまらないのではないか。

委員

今からは、住民が主役になる時代だと思う。住民が主役となって市をどうしていくかが基本になってくると思う。

委員

この懇話会で一つに候補地を絞るというのは、難しいと思う。しかし、今後検討委員会、住民説明会が行なわれる中で場所も決まっていない状態では議論も難しいと思うので何らかの方向性は示すべきではないか。

中心市街地の活性化を主眼にした等の理由付けが必要があるので。

委員

民活の活用の話がでたが、市有地での建替え以外のPFI等の検討も行ったのか。

事務局

PFI方式やリース方式での検討についても行なったところである。

委員

シンボルとしての建物とあるが、ハード的にシンボル的な建物を建てるのではなく、ソフト面でのシンボルを目指すべきでは。

構造上立派な建物を造るのではなく、必要な機能を満たす建物であればよいのでは。

委員

建物は、機能を重点的に。ソフト面で

委員

懇話会がどこまでの提言を行うのか考えると、市長さんが期待するのは、庁舎建設のファーストステップとして市民の意見を広く聞きたい為この懇話会を設置したと考える、そして我々はその声に答える必要がある。

今後世の中は変化して行くと思うが島原の将来像を捉えた中で新しい市役所の機能、市民のニーズを市民の側から提案することを中心に行なうべきではないか。

委員

場所の問題は、微妙な問題ではあるが、こういう議論したということは懇話会として出した方が良い。

骨子の中で抜けてているのは行政改革が抜けている。庁舎整備は行政改革の一環として市民の協力を得るために、一緒に行なうべき。

その中で支所の問題がでてくる。将来支所に配置する人員は出せるのか、コンビニ、郵便局、民間に委託するのかその予算はどの程度かかるのか、利用者はどの程度なのか検討が必要である。

委員

有明庁舎に人員が増えているとの事だが、本庁舎の必要面積を減らすべきでは。具体的な案を示したほうが市民にもわかりやすのでは

委員

島原らしいとは、分かりにくいので城下町を入れて欲しい。

会長

私と事務局とでたたき台を作る。場所についてはどういった表現で表現するか難しいところだが、3案以外にもでているので、それについても懇話会で議論したと提言に盛り込みたいが、土地の所有権等相手がある問題なのでなかなか書きにくいところではある。

事務局

市においても白紙の状況でこの懇話会を立ち上げたところであるのになかなかご議論いただくのも難しかったと思う。

特に場所の問題についてが一番難しいことと思うが、合併特例債の27年度の期限もあったので市が所有する3箇所、現在地を上げたところである。

建設場所を一箇所に絞り込んで提言を頂くのは難しいと思うが、懇話会の意見をいただきたい。

行革について市の機構と、庁舎との関連性について提言に盛り込みたい。

会長

それではたたき台となる案の作成については、私と事務局に一任して欲しい。

委員 異議なし

その他

委員

懇話会に予算がかなりついているようだが、何回開催するのか。

事務局

懇話会の予算のほか、懇話会の中で意見を頂いた自己資金を積み立てている、今年度は2億円を積み立てる予算立てをした。